



令和元年度 学校だより

緑 柏

No. 173

長崎県立佐世保南高等学校

令和元年12月24日発行

発行責任者 下 釜 祐 保

校長室の窓から

もう、いくつ寝ると…

—令和最初の正月を迎えるにあたって—

校長 下 釜 祐 保



小さい頃は正月が来るのが楽しみだった。お年玉をもらえること、新しい服を新調してもらえること、そして都会や街から親類・縁者が集まることなど、ワクワク感に浸っていた。子ども心ながら、特別の時がやってくると期待したものだ。

今年もその正月が迫っている。今月に入り今年の「新語・流行語大賞」が発表された。ラグビー・ワールドカップでの日本チームのスローガンだった“ONE TEAM”が大賞に選ばれた。また、日本漢字能力検定協会が主催する、今年の世相を漢字ひと文字で表す「今年の漢字」は“令”だった。年末が近づくと、テレビや新聞等では、「今年1年を振り返って」という企画が多い。学校に身をおく者にとっては、今日は第2学期の終業日であり、「この1年を振り返る」「今学期を振り返る」ことも、成長する者として通らなければならぬ関所のようなものだ。

人の成長を竹の節や、樹木の年輪に喩えられることも多い。大きく、強く、逞しくなる過程を連想しやすいからであろう。学校では、入学や進級・卒業とともに、各学期の始業式・終業式などの節目の持つ意義は大きい。この時、儀式的行事が行われる。全校生徒と教職員が一堂に会し、学校生活の節目を儀式的に確認していく。成長の足跡を自覚するとともに、発達・成長を促進する働きがあるからだ。

そろそろ「良いお年を…」があいさつに使われ始める頃だろうか。このあいさつは「今年も残り少なくなってきました。年内にやるべきことは首尾よく済ませ、準備万端にて、新年になる瞬間をお迎えくださるよう願います」という意味である。つまり、「節目にふさわしい準備を年内のうちにしっかりやって新年を迎えましょう」なのである。

人類は「時」という概念をつくり、そこに「節目」を意識し、その節目を利用して反省と発奮の機会にしているのである。この「時」の概念や「節目」を利用した自己啓発の発想は、人類がつくった最も価値ある知恵に思えてならない。

イギリスの映画監督でもあり、自ら俳優でもあるチャップリンは「あなたの代表作は何ですか」と問われ、「Next One」（次の作品だ）と答えたそうだ。

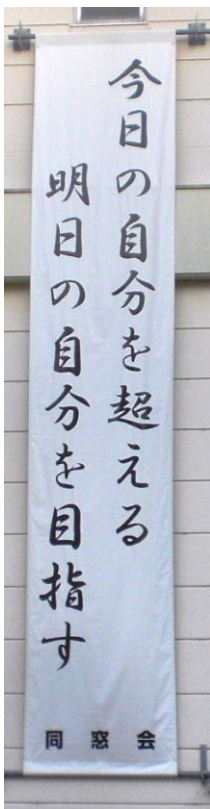
柳生新陰流の奥義として有名な名言は、「昨日の我に今日は勝つべし」だ。

そして、校門に入ってすぐの自彊館に設置された、3万余名の本校同窓会による現役生へのエールは、「今日の自分を超える明日の自分を目指す」である。

これらはすべて、次の機会へ決意であり、期待だ。成長の意欲である。

♪ もう、いくつ寝ると、お正月…。

令和最初の正月がやってくる。この大きな節目を、人生の大きなチャンスにしたい。どうぞ、良いお年を…。



2年生の一大行事

修学旅行特集

主 な 行 程
一日目
皇居二重橋 国会議事堂 東京タワー
二日目
コース別研修 (パナソニックセンター、Jaxaなど)
三日目
班別研修 ディズニーランド
四日目
浅草寺 学校へ

12月3日(火)～6日(金)にかけて2学年の修学旅行が行われました。初日は飛行機が遅れるというハプニングに見舞われましたが、国会議事堂見学と東京タワー周辺散策を行いました。生徒は1964年に開催された東京五輪の象徴である東京タワーからの景色に見入っていました。

2日目はコース別研修の後オリンピック・パラリンピック関連施設見学クルージングを行いました。実際の競技会場などを間近に見て、オリンピックに向けた世の中の流れを肌で感じることができました。また、夕食会場には東京柏葉会の諸先輩方が来られ、激励のお言葉をいただきました。

3日目は各班が事前に計画した都内での自主研修の後ディズニーランドに行きました。生徒は普段の生活では見ることができない大都市の景観や、ディズニーランドで働くプロの仕事ぶりに感銘を受けていました。最終日には浅草寺周辺を散策し、東京の古き良き街並みに触れ、有意義な時間を過ごしました。

3泊4日という限られた時間でしたが、多くの刺激を受けた実りある修学旅行になりました。企画の段階からご理解とご協力を賜りました保護者の皆様方に感謝を申し上げます。

修学旅行写真館



香港の教育関係者による学校視察の依頼がありました。近年は香港の学校も海外への研修旅行を行っており、渡航先での学校交流校を模索するというのが視察の目的でした。本校はユネスコスクールの指定を受けており、これから国際的な交流の機会をもっと取り入れる事ができればとの思いがありました。

11月29日(金)午前9:30、予定どおり視察団が到着しました。皆、中学校(日本の高校に相当)の先生方です。当日は天気に恵まれ、ちょうど中庭のもみじもきれいに色づいており、日本の秋の美しさをお見せする事ができました。香港にはもみじは無いそうで、初めて見る紅葉の景色にたいへん驚かれた様子でした。授業の様子を見学した後、本校の職員と意見交換を行いました。佐世保南高は教室がとて

もきれいで、生徒自身が掃除を行っていることに驚かれました。香港の先生方はたいへん好奇心が旺盛で、教室に張ってある掲示物の内容や学習合宿の意義、また、教科の指導方法についてなど香港と日本の教育観の違いなどを交えながら様々な質問があり、あっという間に終わりの時間となりました。最後に、交流の生徒の受け入れ人数などの具体的な提案がなされ、とても友好的な雰囲気の中、視察は終了いたしました。この視察が学校間交流の第一歩となることを願っています。



本校職員と香港教育視察団の職員。



本校国際交流会館にて行われた対談。
両校の活発な意見交換が行われた。

香港教育視察団についての詳細はコチラ。



「緑柏」バックナンバーについて

本校ホームページに学校だより緑柏のバックナンバー三年分を載せております。

過去の学校行事についてや、さまざまな情報が記載されておりますので、以下のURL、もしくはQRコードでバックナンバー記載サイトへアクセスしてください。

<http://www.news.ed.jp/sasebominami-h/hakuyou.html>



過去3年間分

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
第1号	4月号	4月号	4月号
第2号	5月号	5月号	5月号
第3号	6月号	6月号	6月号
第4号	7月号	7月号	7月号
第5号	8月号	8月号	8月号
第6号	9月号	9月号	9月号
第7号	10月号	10月号	10月号
第8号	11・12月号	11・12月号	11月号
第9号	1月号	1月号	12月号
第10号	2・3月号	2・3月号	1月号
第11号			2月号
第12号			3月号

生徒指導部から ー冬季休業中の生活についてー

まもなく新しい年を迎えることとなります。1・2年生にとっては新しい学年が、3年生にとっては卒業後の新しい生活が始まる1年です。休業日をどう過ごすべきかについては、三者面談において、今年一年の生活及び学習状況や、来年に向けての様々な課題と目標について話し合いが行われたと思います。自分の目標や進路実現に向けて弊害となるもの（携帯・スマホ等を含む）に依存することなく、常に自制心を持って、今この時期に第一になすべきことをよく考えて生活してください。また、この時期は交通事故等が多発する時期でもあります。是非、安全管理及び健康管理にも意識を持って過ごすようにしてください。

PTA研修会

11月16日（土）、佐世保市コミュニティセンターホールにおいて「令和元年度佐世保地区公立高等学校PTA研修会」が開催されました。

この会は、学校・家庭・地域社会が連携し一体となって青少年の健全を実現しようという趣旨で毎年この時期に行われています。

今年の研修会では佐世保北高校PTA、大崎高校PTAの実践発表に続いて、女優の緒方美穂さんの講演がありました。当日は本校からのPTAからも多くの参加をいただきました。本当にありがとうございました。



佐世保西高 西高太鼓部・書道部による

アトラクションの様子

1月の主な行事予定	
1（木）～3（金）	年末年始休日
3（金）～4（土）	第三回センタープレ（3年）
6（月）～7（火）	冬季補習（3年）
7（火）	自学会（1・2年）
8（水）	始業式
8（水）～9（木）	校内実力（1・2年） ※1年は8日のみ
17（金）	センター受験者集会
18（土）～19（日）	センター試験（3年） 進研模試（1・2年） ※1年は18日のみ
20（月）	センター自己採点
25（土）	Sプロ
30（木）	マラソン大会
2月の主な行事予定	
1（土）	Sプロ（全学年）・開校記念日
2（日）	ハイレベル模試（1年）
8（土）	対外模試（2年） 個別学力試験対策模試（3年） Sプロ（1年）
9（日）	対外模試二日目（2年）
15（土）	Sプロ（3年）
20（木）～26（水）	学年末考査（1・2年）
25（火）～26（水）	国立大学前期日程
27（木）	振替休日
28（金）	式場設営等
29（土）	卒業式予行

